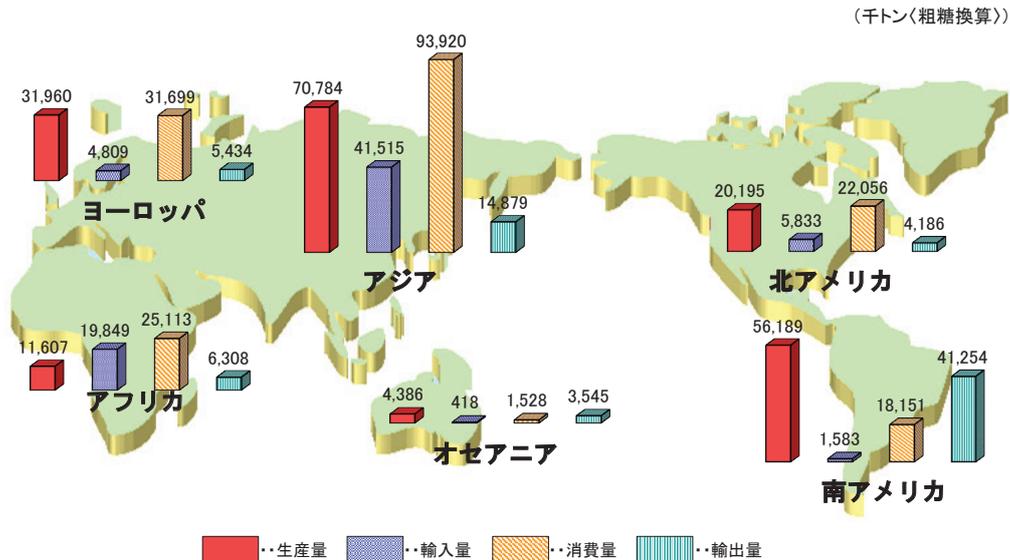


砂糖の国際需給

調査情報部 福寿 悠星、峯岸 啓之

1 世界の砂糖需給（2024年3月時点予測）

図 絵で見る世界の地域別砂糖需給（2023/24年度予測値）



資料：英国の民間調査会社GlobalData UK Ltd. 「Quarterly Statistical Update, March 2024」
 注1：年度は、国際砂糖年度（10月～翌9月）。
 注2：ヨーロッパには、ロシアを含む。

表 世界の砂糖需給の推移

(単位：千トン(粗糖換算)、%)

年度	期首在庫量	生産量	輸入量	消費量	輸出量	期末在庫量	期末在庫率
1993/94	43,011	111,671	29,296	111,545	30,792	41,641	37.3
1998/99	55,071	134,755	36,987	124,048	39,954	62,812	50.6
2003/04	67,776	143,453	44,661	145,044	47,150	63,697	43.9
2008/09	67,085	150,476	48,241	160,676	49,830	55,297	34.4
2013/14	63,710	184,058	58,323	175,873	61,044	69,173	39.3
2018/19	80,620	186,387	61,458	182,717	61,489	84,259	46.1
2019/20	84,259	181,553	69,270	182,304	71,636	81,142	44.5
2020/21	81,142	181,671	66,752	184,750	68,183	76,632	41.5
2021/22	76,632	186,216	69,331	187,816	71,715	72,648	38.7
2022/23	72,648	191,758	70,396	189,775	71,586	73,441	38.7
2023/24 (2024年3月予測)	73,441	195,119	74,006	192,467	75,607	74,493	38.7

資料：GlobalData UK Ltd 「Quarterly Statistical Update, March 2024」
 注1：年度は国際砂糖年度（10月～翌9月）。
 注2：2021/22年度および2022/23年度の数値は推定値、2023/24年度の数値は予測値。
 注3：期末在庫量は（期首在庫量+生産量+輸入量-消費量-輸出量）。
 注4：期末在庫率は、期末在庫量を消費量で除した割合。

「世界の砂糖需給」および「主要国の砂糖需給」は四半期ごとの更新となっていますので、次回は2024年7月号の掲載となります。直近の内容は2024年4月号をご参照ください。

「世界の砂糖需給」：https://www.alic.go.jp/joho-s/joho07_003117.html

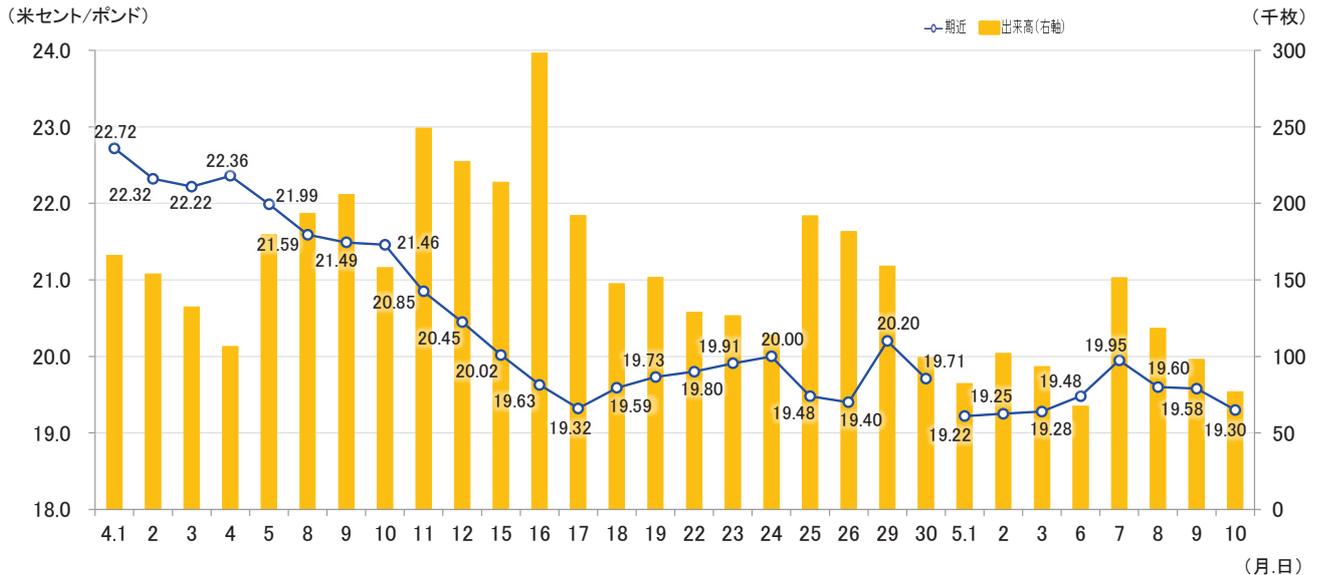
「主要国の砂糖需給」：https://www.alic.go.jp/joho-s/joho07_003118.html

2 国際価格の動向

ニューヨーク粗糖先物相場の動き（4/1～5/10）

～5月限は22セント台から19セント台まで下落、5月以降は19セント台で推移～

図 ニューヨーク粗糖先物相場の動き



資料：インターコンチネンタル取引所
注：4月は期近5月限の値、5月は7月限の値。

2024年4月のニューヨーク粗糖先物相場（5月限）の推移を見ると、1日は、原油高（注1）により、1ポンド当たり22.72セント（注2）をつけたものの、2日以降は、インドでの砂糖の増産やタイの砂糖生産見込みが予想を上回ったことなどから下落し、3日には、同22.22セントとなった。4日は、ブラジルのリアル高（注3）で一時的に上昇に転じたものの、5日以降は、引き続きタイの砂糖増産見込みなどを受けて下落に転じ、11日には、同20.85セントとなった。12日以降は、タイの需給見通しの改善に加え、ブラジルの増産やリアル安でさらに値を下げ、17日には、同19.32セントと15カ月ぶりの安値をつけた。18日は、ブラジル国家食糧供給公社（CONAB）が2023/24年度（4月～翌3月）のブラジルの砂糖生産量予測を下方修正したことで上昇に転じ、24日には、同20.00セントをつけた。25

日以降は、CONABが24/25年度のブラジルの砂糖生産量を過去最高と予測したことなどから、26日には、同19.40セントと再び下落した。29日は、ブラジルでの過度な乾燥とタイでの記録的な暑さにより、一時的に上昇に転じたものの、30日は、ドル高などにより下落し、同19.71セントで納会した。

7月限に切り替わった5月1日は、原油価格の下落により、同19.22セントをつけたものの、2日以降は、ブラジルのリアル高のほか、インドの減産による世界的な砂糖供給量の減少見通しにより、7日には、同19.95セントまで上昇した。8日以降は、ドル高により、10日には、同19.30セントまで下落した。

（注1）一般に、原油価格が上昇すると、石油の代替燃料であるバイオエタノールの需要も増加する。バイ

オエタノールの需要増加により、その原料作物（サトウキビ、てん菜など）のバイオエタノール生産への仕向けが増える一方、それらから生産される食品（サトウキビの場合は砂糖）の生産・供給が減ると想定される。食品用途仕向けの割合が小さくなるほど需給がひっ迫し、当該食品の価格を押し上げる方向に作用する。

（注2）1ポンドは約453.6グラム、1米セントは1米ド

ルの100分の1。

（注3）粗糖は米ドル建てで取引されるため、米ドルに対してレアルが上昇すると、相対的にブラジル産粗糖の価格競争力が弱まる。世界最大の砂糖輸出国ブラジルの輸出意欲が低下すると、需給のひっ迫につながることから、価格を押し上げる方向に作用する。

3 世界の砂糖需給に影響を与える諸国の動向（2024年5月時点予測）

ブラジル

2024/25年度（4月～翌3月）の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：868万ha（前年度比3.5%増）
生産量：6億6716万トン（同6.4%減）

【砂糖（甘しゅ糖）】

生産量：4910万トン（同0.7%減）
輸出量：3893万トン（同3.3%増）

2024/25年度の砂糖生産量はわずかに減少するも引き続き高水準を維持する見込み

2024/25年度（4月～翌3月）のサトウキビ収穫面積は、868万ヘクタール（前年度比3.5%増）とやや増加が見込まれている（表）。一方、サトウキビ生産量は、ブラジル最大の産地であるサンパウロ州で記録的な高温が続いたことにより、4月の収穫量が平年を下回ったことなどから、6億6716万トン（同6.4%減）とかなりの程度減少が見込まれている。

砂糖生産量は、サトウキビの減産見込みを背景に、4910万トン（同0.7%減）とわずかに減少が見込まれているものの、依然として記録的な生産量となった23/24年度に迫る高い水準を維持すると予想されている。

砂糖輸出量は、生産量がわずかに減少する見込みであるものの、インド産やタイ産の輸出が振るわないことから、引き続き国際市場でのブラジル産砂糖の堅調な需要が期待され、3893万トン（同3.3%増）とやや増加が見込まれている。

表 ブラジルの砂糖需給の推移

（単位：千ha、千トン、%）

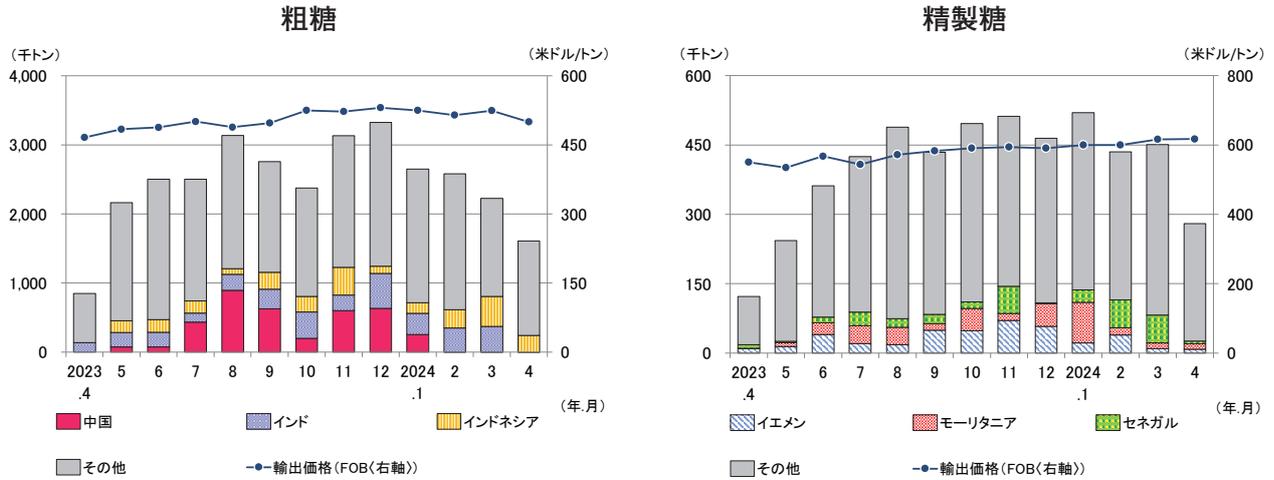
年度	2021/22	2022/23	2023/24	2024/25 (4月予測)	2024/25 (5月予測)	前年度比 (増減率)
サトウキビ収穫面積	8,679	8,485	8,385	8,532	8,682	3.5%
サトウキビ生産量	576,707	606,676	712,934	643,450	667,163	▲ 6.4%
砂糖	生産量	37,620	39,720	49,470	47,780	▲ 0.7%
	輸入量	5	2	5	4	▲ 20.0%
	消費量	10,712	10,551	10,710	10,695	▲ 0.4%
	輸出量	27,093	28,985	37,699	38,196	3.3%
	期末在庫量	3,287	3,472	4,538	3,295	4,043
期末在庫率	8.7	8.8	9.4	6.7	8.2	1.2ポイント減

資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, May 2024」

注1：2022/23年度および2023/24年度の数値は推定値、2024/25年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) ブラジルの砂糖 (粗糖・精製糖別) の輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1701.14（粗糖）および1701.99（精製糖）の数値。

注2：輸出量は、直近13カ月（累計）の上位3カ国・地域を表示。

インド

2023/24年度（10月～翌9月）の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：522万ha（前年度比4.1%減）

生産量：4億3572万トン（同4.4%減）

【砂糖（甘しゅ糖）】

生産量：3490万トン（同1.4%減）

輸出量：445万トン（同48.5%減）

2023/24年度の砂糖輸出量は減産と国内供給の確保により大幅に減少する見込み

2023/24年度（10月～翌9月）のサトウキビの収穫面積は、522万ヘクタール（前年度比4.1%減）とやや減少が見込まれている（表）。サトウキビ生産量は、主産地であるマハラシュトラ州では前年を上回るものの、ウッタル・プラデーシュ州東部では冬季の降雨が少なかったことや赤腐病（red rot）^(注)の発生で不作傾向となったことなどから、4億3572万トン（同4.4%減）とやや減少が見込まれている。

砂糖生産量は、同国政府がサトウキビ由来のエタノール生産を制限し、引き続き砂糖への仕向けを優先させているが、ウッタル・プラデーシュ州でのサ

トウキビの減産などにより、3490万トン（同1.4%減）とわずかな減少が見込まれている。同国政府はエタノール生産の国内利用を推進するべく、24年1月中旬に糖みつ輸出に対し50%の関税を導入した。

砂糖輸出量は、砂糖の減産見込みに加え同国政府による輸出制限により、445万トン（同48.5%減）と前年度の半分近い水準となる大幅な減少が見込まれている。

(注) 真菌の感染によって引き起こされる病気で、茎の内部が腐り、赤色に変色する。サトウキビの単収や砂糖の回収率に深刻な影響を与えるとされている。

表 インドの砂糖需給の推移

(単位：千ha、千トン、%)

年度	2020/21	2021/22	2022/23	2023/24 (4月予測)	2023/24 (5月予測)	前年度比 (増減率)
サトウキビ収穫面積	4,819	5,222	5,441	5,215	5,215	▲ 4.1%
サトウキビ生産量	415,221	481,599	455,898	435,724	435,724	▲ 4.4%
砂糖	生産量	33,642	38,559	35,389	34,903	▲ 1.4%
	輸入量	1,037	427	1,687	3,611	2.1倍
	消費量	28,679	29,516	30,078	31,320	4.1%
	輸出量	8,538	12,468	8,646	4,450	▲ 48.5%
	期末在庫量	7,971	4,973	3,325	6,068	82.6%
	期末在庫率	21.4	11.8	8.6	17.0	17.0

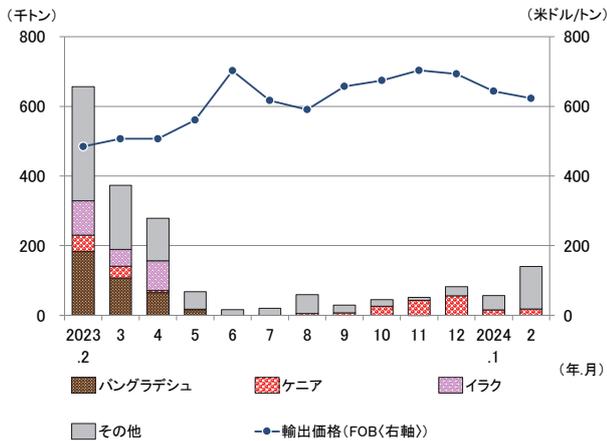
資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, May 2024」

注1：2021/22年度および2022/23年度の数値は推定値、2023/24年度の数値は予測値。

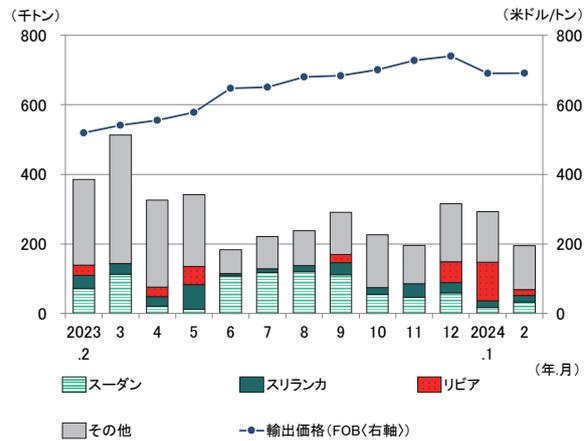
注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) インドの砂糖(粗糖・精製糖別)の輸出量および輸出価格の推移

粗糖



精製糖



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1701.14(粗糖)および1701.99(精製糖)の数値。

注2：輸出量は、直近13カ月(累計)の上位3カ国・地域を表示。

E U

2023/24年度(10月～翌9月)の見通し

【てん菜】

収穫面積：144万ha(前年度比3.2%増)

生産量：1億992万トン(同9.5%増)

【砂糖(てん菜糖)】

生産量：1639万トン(同5.2%増)

輸出量：208万トン(同93.5%増)

2023/24年度の砂糖輸出量は大幅な増加の見込み

2023/24年度(10月～翌9月)のてん菜の収穫面積は、EU最大の主産地であるフランスで減少が見込まれる一方、ポーランドなどでは、てん菜がトウモロコシや小麦と比較して収益性が高いことで、

栽培面積の増加が見込まれるため、144万ヘクタール(前年度比3.2%増)とやや増加が見込まれている(表)。てん菜生産量は、栽培面積の増加に加え、イタリアやドイツなどで前年度よりも生産量が増加したことなどから、1億992万トン(同9.5%増)とかなりの程度増加が見込まれている。

砂糖生産量は、てん菜の増産を背景に1639万トン（同5.2%増）とやや増加が見込まれている。

砂糖輸入量は、22/23年度の輸入量が同年の生産量の減少により増加したことに加えて、24年2月は過去最低の輸入量となるなど低水準であること

から、230万トン（同30.0%減）と大幅な減少が見込まれている。

一方、砂糖輸出量は、砂糖生産量の増加などを受け、208万トン（同93.5%増）と大幅な増加が見込まれている。

表 EUの砂糖需給の推移

(単位：千ha、千トン、%)

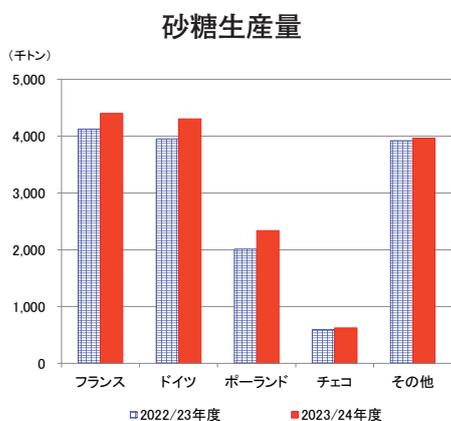
年度	2020/21	2021/22	2022/23	2023/24 (4月予測)	2023/24 (5月予測)	前年度比 (増減率)	
てん菜収穫面積	1,474	1,454	1,399	1,442	1,444	3.2%	
てん菜生産量	98,499	111,391	100,405	108,754	109,923	9.5%	
砂糖	生産量	14,962	17,397	15,580	15,963	16,388	5.2%
	輸入量	1,888	2,153	3,284	2,391	2,298	▲ 30.0%
	消費量	16,612	17,917	17,190	16,792	17,106	▲ 0.5%
	輸出量	1,262	1,312	1,077	2,070	2,083	93.5%
	期末在庫量	1,322	1,641	2,238	1,736	1,736	▲ 22.5%
	期末在庫率	7.4	8.5	12.3	9.2	9.0	3.2ポイント減

資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, May 2024」

注1：2021/22年度および2022/23年度の数値は推定値、2023/24年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

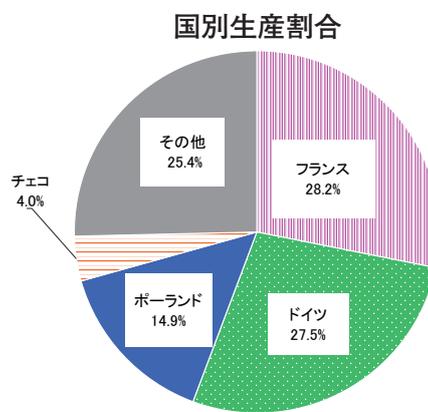
(参考) EUの砂糖生産量および国別の生産割合の見通し (2023/24年度) (2024年4月時点)



資料：欧州委員会

注1：精製糖換算

注2：2022/23年度の数値は推定値、2023/24年度は予測値。



資料：欧州委員会

4 日本の主要輸入先の動向 (2024年5月時点予測)

近年、日本の粗糖（甘しや糖・分みつ糖<HSコード1701.14-110>および甘しや糖・その他<同1701.14-200>の合計）の主要輸入先は、豪州およびタイである。2023年の主要輸入先の割合を見ると、豪州が91.6%（前年比0.8ポイント増）、タイが8.4%（同0.9ポイント減）と、両国でほぼ全量を占めている（財務省「貿易統計」）。

豪州

2024/25年度（4月～翌3月）の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：36万ha（前年度比1.4%増）

生産量：3184万トン（同7.0%増）

【砂糖（甘しや糖）】

生産量：410万トン（同1.2%減）

輸出量：305万トン（同1.9%減）

2024/25年度の砂糖輸出量はわずかに減少する見込み

2024/25年度（4月～翌3月）のサトウキビの収穫面積は、36万ヘクタール（前年度比1.4%増）とわずかな増加が見込まれている（表）。サトウキビの生産量は、4月に主産地であるクイーンズランド州とニューサウスウェールズ州の一部が豪雨に見舞われたものの、サトウキビにとっては恵みの雨となったとみられ、3184万トン（同7.0%増）とかなりの程度増加が見込まれている。なお、降雨は、

サトウキビの収量増加に有利に働くが、著しい豪雨などにより圃場が湛水状態になるとサトウキビの生育にも悪影響を及ぼすことがある。

一方、砂糖生産量は、サトウキビの収穫前であることなどから、4月予測が据え置かれ、410万トン（同1.2%減）とわずかな減少が見込まれている。

砂糖輸出量は、アジア地域や50年ぶりに輸出が再開された英国向けの需要が引き続き期待されるものの、砂糖の減産見込みにより、305万トン（同1.9%減）とわずかな減少が見込まれている。

表 豪州の砂糖需給の推移

（単位：千ha、千トン、%）

年度	2021/22	2022/23	2023/24	2024/25 (4月予測)	2024/25 (5月予測)	前年度比 (増減率)	
サトウキビ収穫面積	343	328	353	358	358	1.4%	
サトウキビ生産量	30,123	32,593	29,757	31,841	31,841	7.0%	
砂糖	生産量	4,108	4,298	4,149	4,100	4,100	▲ 1.2%
	輸入量	9	8	12	11	11	▲ 8.3%
	消費量	1,051	1,048	1,054	1,068	1,062	0.8%
	輸出量	3,453	2,957	3,107	3,043	3,049	▲ 1.9%
	期末在庫量	360	660	660	654	660	▲ 0.0%
期末在庫率	8.0	16.5	15.9	15.9	16.0	0.2ポイント増	

資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, May 2024」

注1：2022/23年度および2023/24年度の数値は推定値、2024/25年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

タイ

2023/24年度（10月～翌9月）の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：152万ha（前年度比6.2%減）

生産量：8200万トン（同12.7%減）

【砂糖（甘しや糖）】

生産量：928万トン（同20.6%減）

輸出量：635万トン（同22.8%減）

2023/24年度の砂糖生産量と輸出量は大幅に減少する見込み

2023/24年度（10月～翌9月）のサトウキビ収

穫面積は、エルニーニョ現象などによる干ばつの影響を考慮して、より乾燥に強いキャッサバに転換する農家が増加したことで、152万ヘクタール（前

年度比6.2%減)とかなりの程度減少が見込まれている(表)。サトウキビ生産量は、収穫面積の減少に加え、エルニーニョ現象による天候不順で不作傾向となったことなどから、8200万トン(同12.7%減)とかなり大きな減産が見込まれている。

砂糖生産量は、サトウキビの減産やこれまでの収穫分の可製糖率(CCS)^(注)の数値が低いことから、928万トン(同20.6%減)と大幅な減少が見込まれている。同国のサトウキビ・砂糖委員会事務局は、製糖工場に納入されるサトウキビに梢頭部や葉な

どの収穫残渣^{ざんさ}が多く、今後、砂糖生産量の低下が懸念されるとして、収穫残渣の混入防止策を検討していることを明らかにしている。

砂糖輸出量は、砂糖生産量の減少を背景に635万トン(同22.8%減)と大幅な減少が見込まれている。

(注) 可製糖率：サトウキビのショ糖含有率、繊維含有率および搾汁液の純度から算出される回収可能な糖分の割合。

表 タイの砂糖需給の推移

(単位：千ha、千トン、%)

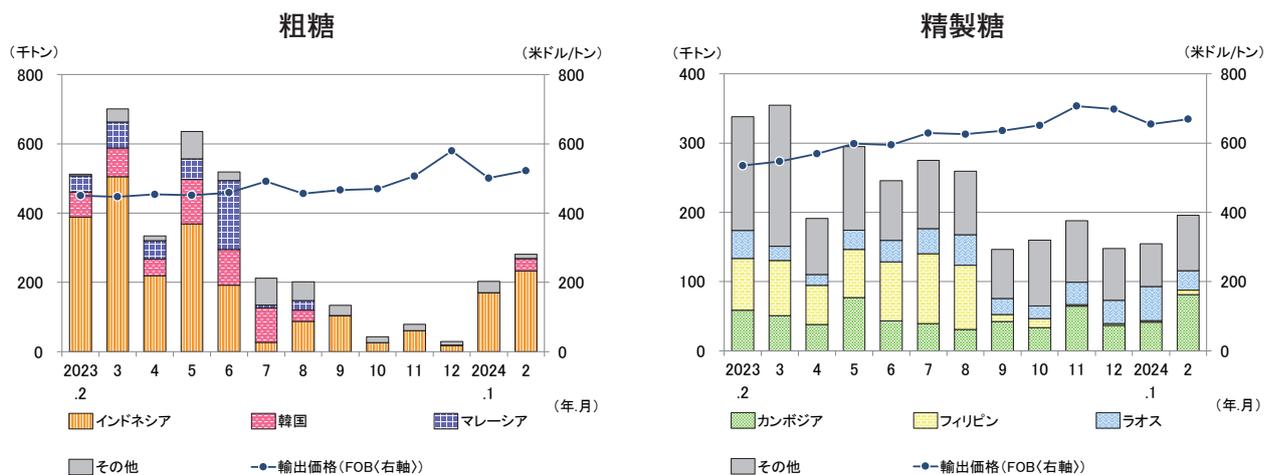
年度	2020/21	2021/22	2022/23	2023/24 (4月予測)	2023/24 (5月予測)	前年度比 (増減率)	
サトウキビ収穫面積	1,485	1,525	1,617	1,518	1,518	▲6.2%	
サトウキビ生産量	66,659	91,145	93,888	82,000	82,000	▲12.7%	
砂糖	生産量	8,046	10,643	11,682	9,275	9,275	▲20.6%
	輸入量	111	149	283	150	150	▲47.0%
	消費量	3,592	3,424	3,348	3,350	3,369	0.6%
	輸出量	3,981	8,085	8,229	6,321	6,351	▲22.8%
	期末在庫量	5,116	4,400	4,788	4,539	4,492	▲6.2%
	期末在庫率	67.6	38.2	41.4	46.9	46.2	4.9ポイント増

資料：GlobalData UK Ltd. [Monthly Sugar Information in Major Countries, May 2024]

注1：2021/22年度および2022/23年度の数値は推定値、2023/24年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) タイの砂糖(粗糖・精製糖別)の輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1701.14(粗糖)および1701.99(精製糖)の数値。

注2：輸出量は、直近13カ月(累計)の上位3カ国・地域を表示。